

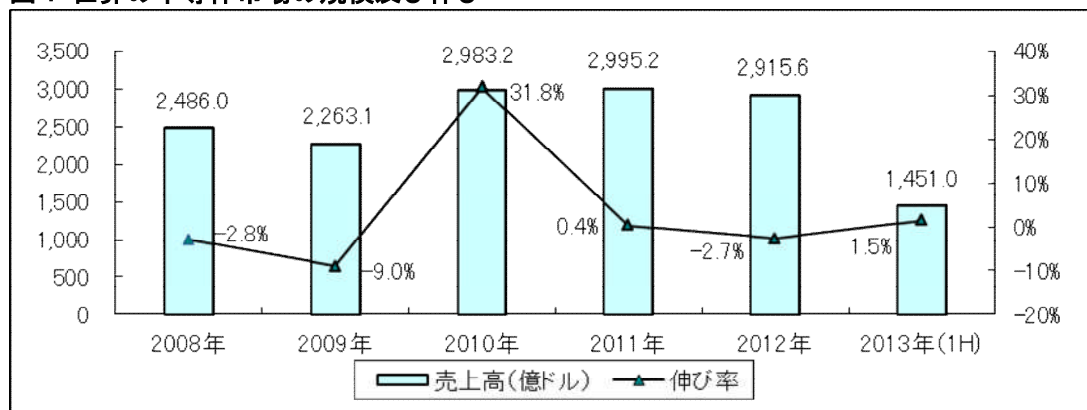
## 中国 IC 産業を 2013 年に急成長させた要素とは？

CCID(賽迪顧問)基礎電子産業研究センター 陳偉

### 2013 年の世界の半導体市場は右肩上がり。伸びは周期的に回復

世界的な経済不況が続く中、2012 年の半導体産業は世界的にも期待されていたような伸びが見られず、産業規模は却ってしぼんでしまった。通年で 2,915.6 億ドルと 11 年同期比で 2.7%のマイナスだった。だが、第 4 四半期以降は好転の兆しが見え、13 年に向けて期待が膨らんだことが安心材料となった。米国半導体産業協会(SIA)の発表によると、13 年前半の売上高は 12 年同期比 1.5%増の 1,451 億ドル。第 2 四半期は 746.5 億ドルと第 1 四半期の 704.5 億ドルから 6%増え、過去 3 年で最大の伸び幅となった。SIA の予測では、13 年の世界の半導体の収益は 12 年比 2.1%増の 2,978 億ドルになるという。半導体市場は、13 年末の数か月と 14 年で世界的に力強い伸びを見せ、産業としても周期的に伸びが回復するとみられる。

図 1 世界の半導体市場の規模及び伸び



データ出典：CCID(賽迪顧問)まとめ，2013.11

スマートフォンやタブレット PC、カーエレクトロニクスなどの分野で半導体のニーズが拡大を続け、2013 年の半導体市場は世界的に好転した。同時に、大衆消費電子製品とインターネットやモバイルインターネットとが結びつくことで、携帯電話、タブレット PC、スマートテレビなどのネットワーク接続端末の利用が増えた。様々な電子製品のニーズが大幅に伸びており、チップの出荷量も伸びが続きそうだ。こうした分野が

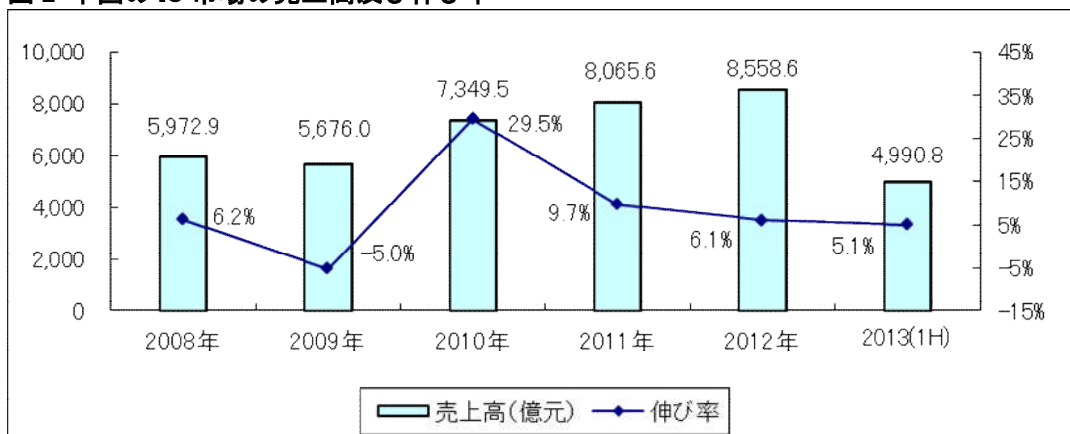
■本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。また、電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。

13年の市場のエンジンとなった。

### 中国 IC 市場の安定成長を促す内外の要因

世界的な経済不況が続く中、2012年の中国の電子製品の輸出は伸びにブレーキがかかった。IC利用率が高い電子製品の輸出が大きく減速し、モバイルスマート機器の伸びに勢いが見られた以外には、中国国内のその他の製品の販売は軒並み下火になった。内外の様々な要因から中国のIC市場の規模は6.1%増の8558.6億元(約14兆5,496億円)だったが、13年を通じての伸びは安定しそうだ。背景には世界経済の好転や中国製電子製品へのニーズの増加、及びモバイル機器やスマートフォンに代表されるモバイルインターネット機器の急成長がある。13年前半の時点での売上高は前年同期比5.1%増の4,990.8億元(約8兆4,843億円)だった。

図2 中国のIC市場の売上高及び伸び率



データ出典：CCID(賽迪顧問)まとめ、2013.11

今後の中国経済は戦略的新興産業を発展させ新たな工業化の道を進むことが柱となる。こうした中で、次世代情報技術、省エネ環境保護、バイオ産業、ハイエンド設備製造産業、新エネルギー、新素材、新エネルギー自動車の七大戦略的新興産業の急成長が見込まれる。次世代情報技術領域では、次世代モバイル通信、次世代インターネット、新型ディスプレイなどの重点産業やユビキタス、トリプルプレイといった重点領域で大量のICチップが必要となる。主にマイクロプロセッサ、メモリー、電源管理・パワーデバイス、ネットワーク・通信用チップ、AVデコーダチップ、ディスプレイドラ

■本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。また、電子的または機械的手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。

---

イバ・コントロールチップなどである。こうした IC 製品が新興産業の急発展に後押しされる形で、中国の IC 市場のエンジンとなる。

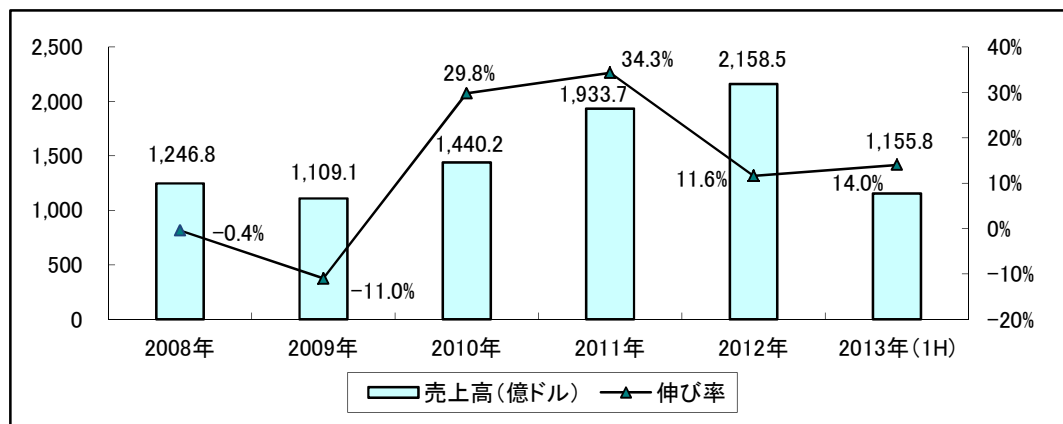
### 急成長する中国の IC 産業。IC 設計の伸びが顕著

2013 年の中国国内の IC 産業は国内外の経済の好調ぶりや国内の電子情報製造業に引っ張られ、また政策的な支援もあり、高止まりとなった。年前半時点での売上高は前年同期比 14.0%増の 1,155.8 億元(約 1 兆 9,648 億円)だった。

IC の各産業チェーンの状況としては、IC 設計業が急成長を維持。13 年前半の売上高は前年同期比 32.8%増の 331.7 億元(約 5,638 億円)だった。08 年の金融危機以降、IC 設計は毎年平均 25%を上回るペースで伸び、13 年通年でも高い伸びを維持しようだ。最近では、NB(ノートブック)、デジタルカメラ、PC、LCD(液晶ディスプレイ)などの情報機器の大型工場が次々に中国に移され、中国は世界最大の情報製品生産基地となっている。川下の応用領域の旺盛なニーズも中国国内の IC 製品の伸びを後押しし、IC 設計産業の成長を促している。また、チップ製造と半導体試験業界も安定して伸びている。13 年前半の売上高はそれぞれ前年同期比 10.1%と 6.6%増の 305.4 億元(約 5,191 億円)と 518.7 億元(約 8,817 億円)だった

IC 設計、チップ製造、半導体試験の3分野の発展に伴い、中国国内の IC 産業の構造も徐々に変化している。IC 設計の比率は右肩上がり続けそうだが、半導体試験は右肩下がりの傾向にある。IC 設計が今後も中国国内の IC 産業の成長株であり、販売収益は向こう3年間も急速な伸びを維持。16 年には 1,200 億元(約 2 兆 400 億円)規模が見込まれる。

図 3 中国の IC 産業の売上高及び伸び率



データ出典：CCID(賽迪顧問)まとめ, 2013.11

世界経済には依然として多くの不確定要素が存在するが、半導体産業の伸びが周期的に回復に向かうことは間違いない。今後数年間は中国の IC 産業にとって戦略的に重要な時期であり、世界の半導体産業の復活や国内の経済、政策、川下の応用領域の急発展などが中国の IC 産業の発展に道筋を付けるだろう。中長期的には、国が戦略的新興産業の発展や産業奨励支援策の充実に力を入れているため、IC 産業は依然として急速な伸びを維持。16 年には、中国国内の規模は 3,500 億元(約 5 兆 9,500 億円)を突破するだろう。

### ■ 賽迪顧問股份有限公司 (CCID) のご紹介

CCIDは、中国「工業情報化省」傘下で中国最大のコンサルティング会社です。2004 年には、中国のコンサルティング会社として初めて香港証券取引所への上場を果たしました。各国の企業に対し、市場調査やマーケティング戦略・販売チャネルの構築支援など多岐にわたるサービスを提供しています。現在は北京本社のほか、上海や広州、深センに支社、日本や米国、韓国、イタリアに事務所を置いてあり、世界的に高い知名度を誇っています。

### ■ CCID日本事務所

設立：2007 年 10 月

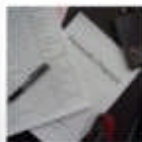
代表：朱偉徳(ファーイースト・パートナーズ株式会社 代表取締役)

■本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。また、電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。

役割：中国市場調査サービスのご提供（市場レポート、市場データ、受託調査）

住所：東京都新宿区西早稲田 1-22-3（ファーイースト・パートナーズ株式会社内）

## 中国市場調査サービス



### 中国市場調査レポート

中国市場の今を知る  
最新マーケティングレポート

2012-2013 年版中国市場調査レポートを  
4月1日より販売開始。詳細はこちら↓  
[www.j-fep.co.jp/consul/report.html](http://www.j-fep.co.jp/consul/report.html)



### 中国市場データ配信

企業別・地域別最新データの  
定期配信サービス

ご希望分野のデータを定期的にお届けする  
サービスです。詳細はこちら↓  
[www.j-fep.co.jp/consul/data.html](http://www.j-fep.co.jp/consul/data.html)



### 中国市場受託調査

政府系コンサル企業による  
ニーズ・目的に応じた調査

調査地域・分野を問わず、お客様固有の  
ニーズに合わせて実施するカスタムリサー  
チサービスです。詳細はこちら↓  
[www.j-fep.co.jp/consul/custom.html](http://www.j-fep.co.jp/consul/custom.html)

■本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。また、電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。